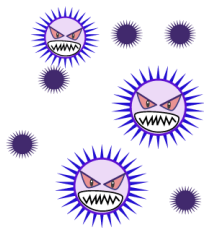


たんぽぽ通信

Vol. 93 2017年6月10日発行 たんぽぽ薬局 二俣川店

カビと健康について

入梅の時期を迎え、カビが気になる季節になりました。健康への影響も懸念されるカビについてのお話です。



カビは酵母やキノコと同じ「真菌」の仲間、菌糸という糸状の形をしています。

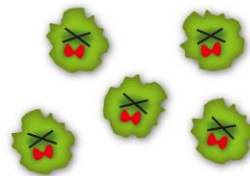
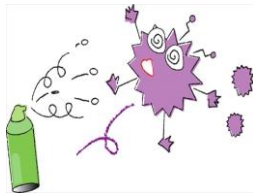
食品を発酵させたり、抗生物質の原料になったりと有用なものがある一方、人間に害を与えるものもあります。

カビが繁殖する条件は、

『**温度**』『**湿度**』『**空気(酸素)**』『**養分**』の4つになります。

この4つのうち、どれか1つでも無くせば、カビの発生を防止することができます。

1. 『**温度**』を下げる。下げ過ぎても人間が生活できなくなってしまいます…。
2. 『**湿度**』を下げる。湿度が高いと人間は不快に感じますが、下げ過ぎるとインフルエンザウィルスなどが飛散しやすい状態になり、流行性疾患の原因になります…。
3. 『**空気(酸素)**』を遮断する方法もありますが、これでは私達人間が生活できなくなります…。
4. 『**養分**』とは、カビの餌となるホコリやゴミなどです。
これは掃除をすることによって繁殖を防げます。



カビ対策には、もう1つあります。それは薬品を使うことです。しかしこれは使い方を間違えると人間にも害を及ぼすことがありますので注意が必要です。

既に発生してしまったカビのお手入れ方法は？

発生したばかりのカビでしたら、ふき取りだけで大丈夫ですが、放っておいて広がってしまったカビには、カビ取り剤の薬品を使用することになります。

しかし、壁紙などカビ取り剤の薬品が使用できない場所があります。そのときは、消毒用のエタノールを吹きかけてください。その後、雑巾で拭きとり、もう一度エタノールを吹きかけてください。



カビが原因となる症状や病気

- ◎下痢・腹痛・吐気…食べ物に生えたカビが原因
- ◎水虫・スポトリウム症…皮膚からカビが侵入
- ◎肺炎・喘息・鼻炎・結膜炎…呼吸器から体内に侵入



まとめ

湿度の管理に注意して、カビの餌となるホコリやゴミなどを残さないように、定期的な清掃を心がけ、快適に梅雨を過ごしましょう。

たんぽぽ通信からのお知らせ

ご質問、ご意見などございましたらお近くのエムトウエムの調剤薬局にご相談ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

